文部科学省

第110回 ライフサイエンス委員会	資料２
令和5年12月8日	

ライフサイエンス分野の
令和5年度補正予算の内容について

研究振興局
ライフサイエンス課

認知症治療等に資する脳科学を始めとした健康・医療分野の研究基盤等の整備

令和5年度補正予算額　56億円

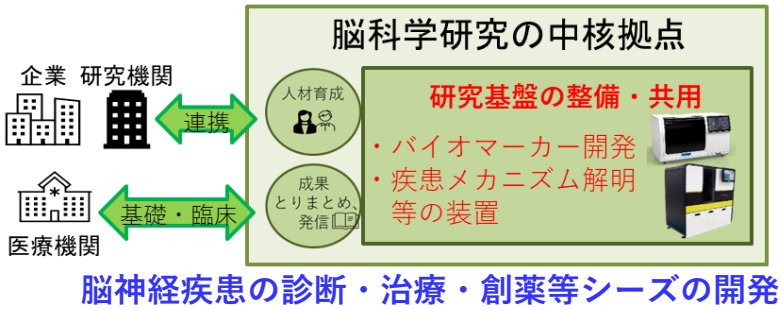
文部科学省

現状・課題

- 経済財政運営と改革の基本方針2023、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023（令和５年６月閣議決定）等を踏まえ、**認知症治療等に資する脳科学を始めとした健康・医療分野**において、**先端機器等の研究基盤等を整備することで、当該分野の研究開発を加速**する。
- 認知症治療等に資する**脳科学研究の中核拠点への研究基盤整備**、**バイオバンクの維持・運営に必要な設備等の更新**、バイオ医薬品等の**創薬強化のための共用基盤整備**、感染症有事における**現地国での迅速な研究活動への協力に必要不可欠な基盤整備**、再生・細胞医療と遺伝子治療の融合研究の実用化のための**ベクター製造基盤整備**を行うとともに、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）における**情報基盤システムの更新**を行う。

事業内容

認知症治療等に資する脳科学研究の中核拠点への研究基盤整備



脳神経疾患の診断・治療・創薬等シーズの開発

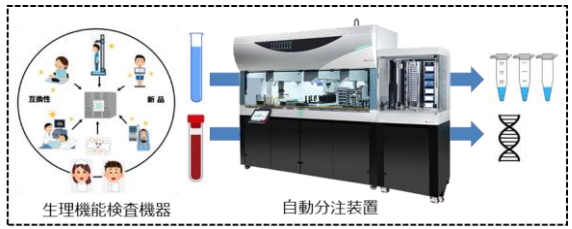
バイオ医薬品等の創薬強化のための共用基盤整備

- **蛋白質構造解析の高度化・迅速化**
- **バイオ医薬品（核酸医薬等）の評価系の整備　等**

放射光用検出器　質量分析システム　顕微鏡

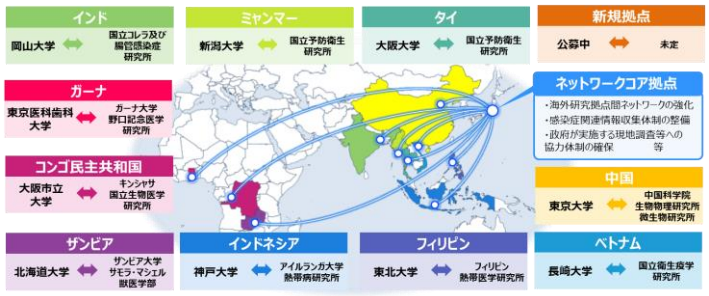
バイオバンクの維持・運営に必要な設備等の更新

東北メディカル・メガバンク計画



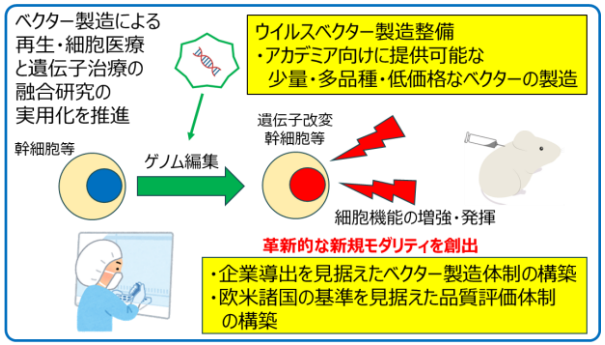
バイオバンク・ジャパン

感染症有事における現地国での研究活動に必要不可欠な基盤整備



感染症研究に不可欠な機器（一例）

ベクター製造基盤整備



AMED基盤情報システム更新

「第３期基盤情報システム」の初期構築を行う

【事業スキーム】　国　→（補助金）→　AMED　→（補助／委託）→　大学・国立研究開発法人等

大学発医療系スタートアップ支援プログラム

令和5年度補正予算額　152億円

文部科学省

現状・課題

- 大学発医療系スタートアップは、**革新的な医薬品・医療機器の開発において欠かせない存在**であるが、開発段階で**治験等を見据えた薬事規制対応が必要**であり、**特別な支援が不可欠**
- 関係府省において推進しているが、**シード期（非臨床段階）にあたるスタートアップの起業に関する支援**などについては、未だ不十分

事業内容

事業実施期間　5年程度

大学発医療系スタートアップ起業のための**専門的見地からの伴走支援**や**非臨床研究等に必要な費用の支援**、**医療ニーズを捉えて起業を目指す若手人材の発掘・育成**を実施するプログラムを新設。

- ✓ **橋渡し研究支援機関（文部科学大臣認定）**から選抜した機関に対し、大学発医療系スタートアップの起業に必要な専門的な支援や関係業界との連携を行うための**スタートアップ体制整備費を支援**。
- ✓ 機関では**３つのシーズ枠に分けて研究費等を支援**するとともに、**伴走支援**を実施。

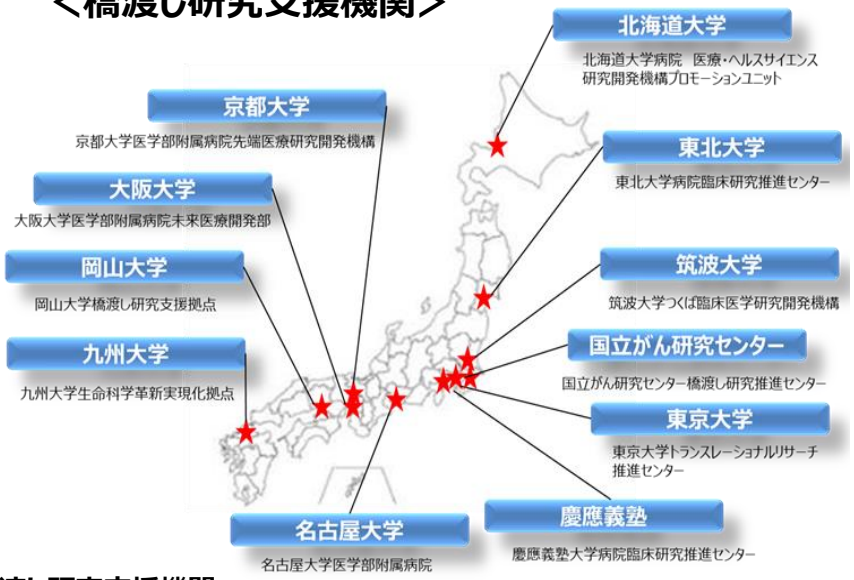
シーズS0	シーズS1	シーズS2
起業を目指す若手研究人材を発掘・育成	起業を目指す課題を発掘・育成	起業直後でVC等の民間資金獲得を目指す課題

- ✓ 医療系スタートアップ支援の性質を踏まえ、**基金を活用して起業前から非臨床研究などに必要な資金を柔軟かつ機動的に支援**することで、シード期のスタートアップへの支援を強化

【本事業のスキーム】

件数	４機関程度	交付先	AMEDを通じて大学等を支援

＜橋渡し研究支援機関＞



橋渡し研究支援機関：
医薬品や医療機器等の実用化支援に関する体制や実績等について一定の要件を満たす機関を「橋渡し研究支援機関」として文部科学大臣が認定